



安全運転をお願いします

春風が吹く中、春の交通安全街頭指導が役場前とJR十二湖駅前の国道2か所で行われました。

町交通安全対策協議会、鰯ヶ沢地区交通安全協会各支部交通指導隊、交通安全母の会の方たちが参加し、シートベルト、チャイルドシートの正しい着用の指導や、子どもたちが安心して登校できるよう、啓発グッズを配りながらドライバーや自転車に乗る人たちへ安全運転を呼びかけました。

4/8

大きく育て！追良瀬のサケ

追良瀬内水面漁協によるサケ稚魚放流式が、今年も追良瀬親水公園で行われました。

放流式には、地元関係者のほか、みよし保育園の園児や深浦小学校の3年生が参加。この日はサケ稚魚1万尾を追良瀬川に放流しました。

追良瀬川では、3月下旬から4月中旬にかけて、この日の1万尾と合わせて約48万尾のサケ稚魚を放流しています。

参加した園児や児童たちは、バケツの中を泳ぐ稚魚を川へ送り出しました。深浦小学校の佐藤日咲（さとうひなた）さんは「また川に帰ってきてほしい」と感想を語りました。



4/14



自分たちの手で住みよいきれいな町へ

美しい深浦の景観を維持し、住み心地の良い地域にしようと毎年行っている沿道美化清掃が、今年も町内全域で実施されました。

早朝から自治会や老人クラブなど約2,500人が参加し、道路沿いや海岸など、自分たちが生活している地域のごみ拾いや側溝の泥上げなどを行いました。

地域住民の方たちは、手分けして地区全体を歩き回り、道端に落ちているごみを拾いました。

今後もきれいになった町の景観を守っていくためにも、町民のみなさんが「ごみをポイ捨てしない」意識を持って生活しましょう。

4/19

深浦サーモン水揚げ

大規模サーモン養殖事業に取り組む日本サーモンファーム（株）が、北金ヶ沢漁港で「深浦サーモン」の水揚げを行いました。ふ化から中間養殖、海面養殖まで一貫生産体制で成長したサーモンを、この日は町内の漁業関係者30名ほどが集まり、大きなタモ網で約9,000匹を次々と水揚げし、鮮度を保つため、すぐに活締めと冷却を施して出荷されました。

今年は深浦漁協及び新深浦漁協と連携しながら、深浦港で約50トン、北金ヶ沢漁港で約200トン、計約250トンが水揚げされる予定です。水揚げ後は全国各地に出荷され、皆さんに深浦産サーモンを味わっていただきます。



4/23

まちかど

ウォッチング

みなさんの身近な話題・行事・出来事などの情報をお寄せ下さい。

深浦町総合戦略課 企画調整係
電話 74-2122

山正さん、100歳を迎える

3月14日に100歳を迎えた山正サドさん（森山）を平沢一臣町長が訪れて祝辞を述べるとともにお祝金を手渡しました。

山正サドさん（森山）は1925（大正14）年、秋田県生まれ。夫の経雄さんと結婚し、子ども4人、孫6人、ひ孫8人に恵まれました。

100歳を迎えた今でも何事にも前向きに取り組む姿勢に施設のお友達も感心しきり。普段から子どもたちと電話で会話を楽しむなどいきいきと過ごしています。

このお祝いの日に、家族に囲まれとても嬉しそうにしています。

3/31



ドキドキ、わくわくの新生活

町内の小中学校の入学式が一斉に行われ、小学校19人、中学校25人の児童・生徒が新たな学校生活をスタートさせました。

このうち、修道小学校には男子2人、女子2人が入学。新入生4人は、一人ずつ名前を呼ばれると大きな声で元気に返事をしました。新入生は全員で在校生・先生たちへ「よろしくお願いします！」とあいさつをし、これからの学校生活への期待に胸を膨らませていました。

深浦中学校には男子10人、女子8人が入学。入学式前には、新入生を歓迎し、在校生による十二湖太鼓が披露されました。新入生を代表して熊谷海音（くまがいみおん）さんが「一日一日を大切にしたい悔いのない充実した3年間を送りたい」と中学校生活への思いを語りました。



4/7

『ロバ隊長』贈呈式が行われました

特別養護老人ホーム桃の木で、ロバ隊長の贈呈式が行われました。

オレンジ色のロバは認知症普及啓発のマスコットキャラクターであり、認知症サポーター養成講座の講師を務めるキャラバンメイトが所属する施設に贈呈されました。

贈呈されたロバ隊長は、入所者や来客者がロバ隊長を見ることが、認知症について考え、話をするきっかけづくりになることや、認知症の正しい知識を普及・啓発できるキャラバンメイトが所属している目印になります。

この日、贈呈式が行われた桃の木をはじめ、町内15の施設へボランティアの方が作成したロバ隊長が贈られました。

4/8

